

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県女性保護施設
 指定管理者 社会福祉法人 神奈川県民生福祉協会
 施設所管課 人権男女共同参画課

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月20日	改善すべき業務等なし
11月	12月10日	12月18日	改善すべき業務等なし
12月	1月8日	1月18日	改善すべき業務等なし
1月	2月10日	2月19日	改善すべき業務等なし
2月	3月10日	3月19日	改善すべき業務等なし
3月	4月9日	4月16日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

< 提案内容の概要 >

- ① 利用者の主体性を尊重した自立支援計画の策定
- ② メンタル支援の充実
- ③ 退所者自立支援事業の充実

< 実施状況 >

- ① 作成実績 10月:4人、11月:4人、12月:2人、1月:1人、2月:2人、3月:6人
 下半期実績:19人(前年同期11人)となっており、実績を上回っている。
- ② 面接実績(延べ)10月:36人、11月:38人、12月:35人、1月:29人、2月:37人、3月:51人
 下半期実績:226人(前年同期:291人)となっており、実績を下回っている。
- ③ 支援実績(延べ)10月:208人、11月:230人、12月:172人、1月:153人、2月:176人、
 3月:192人
 下半期実績:1131人(前年同期:1139人)となっており、実績を維持している。

提案された事業のうち、①については、新規利用者の計画策定が確実に行われるようになってきており、③についても、引き続き、相談しやすい体制を維持しているものと考えられる。②については、利用者数の減少が影響していると思われる。

いずれの事業も、引き続き、支援内容の充実を図っており、それぞれ効果を持ち、適切に実施されているものと考えている。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	143,990	143,990	0	143,990	0
上半期計 (a)	68,264	64,266	0 ()	64,351	3,913
下半期計 (b)	64,103	62,430	0 ()	62,513	1,590
10月	9,245	8,701	0 ()	10,248	△1,002
11月	8,736	8,596	0 ()	8,419	317
12月	21,517	21,236	0 ()	15,698	5,818
1月	8,525	8,291	0 ()	8,377	147
2月	8,701	8,419	0 ()	8,899	△197
3月	7,376	7,184	0 ()	10,869	△3,492
合計 (a+b)	132,368	126,696	0	126,864	5,503

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

該当なし

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	該当なし	
支出の状況	該当なし	
積立等の状況	該当なし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	7,499 人	7,509 人	△0.1%
下半期計 (b)	6,876 人	7,845 人	△12.4%
10 月	1,328 人	1,345 人	△1.3%
11 月	1,123 人	1,288 人	△12.8%
12 月	1,107 人	1,404 人	△21.2%
1 月	1,071 人	1,355 人	△21.0%
2 月	1,043 人	1,200 人	△13.1%
3 月	1,204 人	1,253 人	△3.9%
合計 (a+b)	14,375 人	15,354 人	△6.4%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

前年同期に比べ、利用者数が減少しており、その理由は特定できないが、県内の一時保護施設においても同様の状況である。今後、利用者数が増加に転じても、適切に支援を行える体制維持に努めている。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10 月						0
11 月						0
12 月						0
1 月						0
2 月						0
3 月						0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10 月			0
11 月			0
12 月			0
1 月			0
2 月			0
3 月			0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・該当なし ・	
職員対応	・該当なし ・	
事業内容	・該当なし ・	
その他	・該当なし ・	

7 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

該当なし

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

利用者数が減少傾向にあったが、全般的に良好な運営状況であった。
下半期は、施設内作業対象者や施設外就労者が多い状況であった。施設内作業については、注文が減少し新規開拓が必要な状況にあったが、女性向けの仕事を探すのは難しい状況であった。
6月に利用者居室から発見された床ジラミ（南京虫）については、10月に再度消毒を実施し、さらに、3月に畳替え及び消毒を行った。撲滅の困難さを実感するも、引き続き環境整備に努めたい。
12月にはクリスマス会を実施し、利用者、地域住民代表、ボランティア、関係機関職員、職員と一緒に楽しみながら交流を深めることができた。

施設所管課

利用者の自立支援、就労支援、退所者のフォローアップに積極的に取り組み、指定管理業務を着実に推進している。収支状況もおおむね良好である。
食事改善懇談会など、利用者との話し合いの場を設け、意見を反映することで、満足度の高い施設運営に努めている様子が伺えた。
床ジラミへの対応については、利用者とともに定期的な換気及び清掃を行い、被害の拡大防止に努めていた。3月には、施設営繕担当課からの再配当により、畳替え及び消毒を行うことができ、指定管理者とともに環境整備に努めた。
平成21年度下半期における平均入所者は月に37.3人で、前年同期（42.8人）より5.5人少なく（対前年同期比87%）、前年度に比べ減少傾向にあったが、これは、県内の一時保護施設においても同様の状況であった。